

発 行

福井県大野市天神町1番1号
大野市役所
電話(代)6-1111
郵便番号912

印刷 松浦印刷所

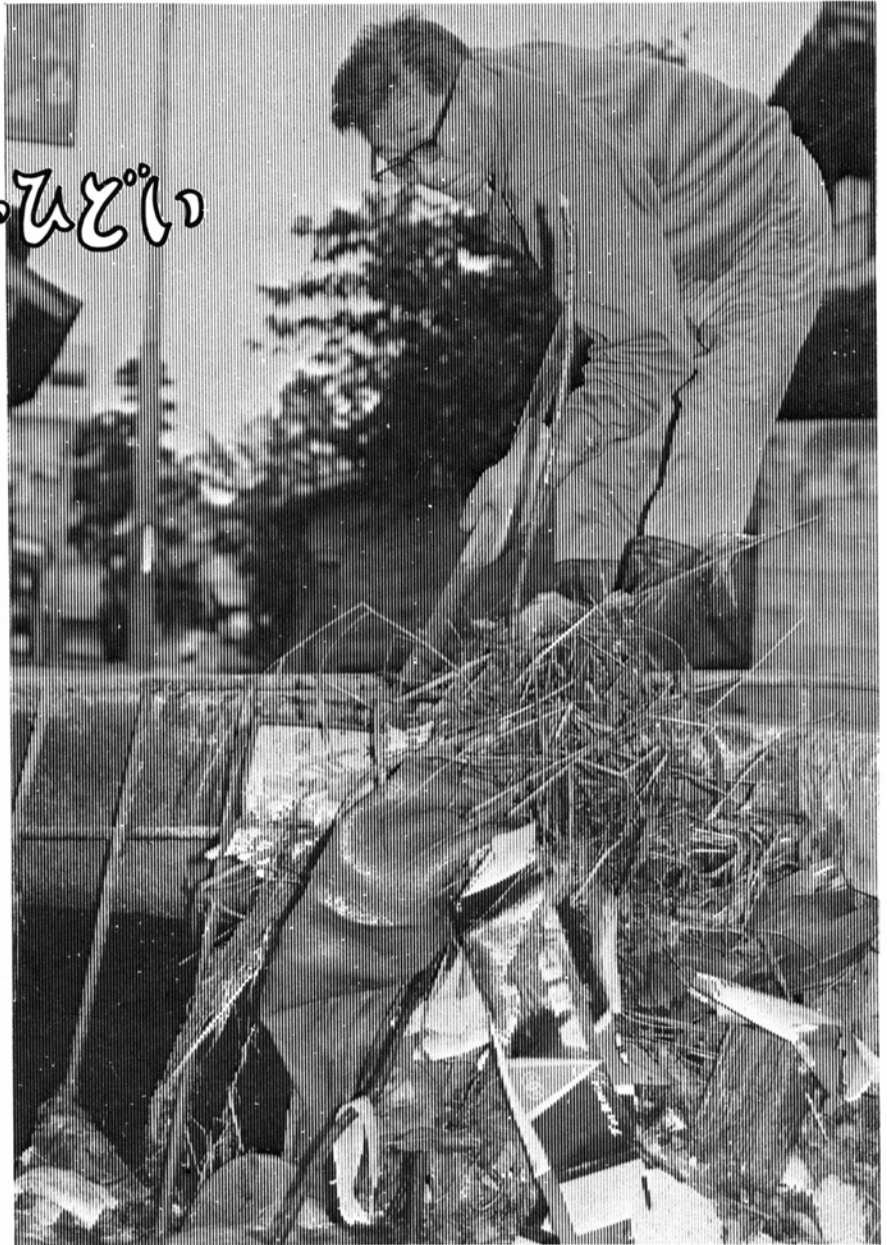


8月の人口の動き

出生	男 30	女 31	計 61
死亡	〃 13	〃 15	〃 28
転入	〃 49	〃 39	〃 88
転出	〃 34	〃 38	〃 72
世帯数	10,325(前月+7)		
人口	42,688(前月+49)		
男	20,624	女	22,064

うわあ
こりゃひどい

川のゴミ
一日一ト



「ゴミ1ト」、軽トラックに3台
これは、毎日川に流れるゴミの量
です。

市街地を中心に各用水路に設け
た20カ所のゴミ網には、ヒエ、草
インスタント食品のケース、ハッ
ポウスチロールの容器、ビニール
袋、カン、ビンなどが毎日せき(堰)
を作って掛かります。

このゴミの量を市民1人当たり
になおしますと約25㍑で、食パン1枚分
というわずかな量です。しかし、全体で
は1トという膨大な量になるのでから
「これくらい捨てても……」の安易な気
持は是が非でもなくしたいもの。

下流の中野町ではゴミが詰まり、川水
があふれて床下に浸水する騒ぎが度々起
こります。また、毎年春にはゴミが水田
に入り、苗を倒してかなりの被害を出し
ています。

ゴミが「護美」に変わるのは市民1人ひ
とりの気持次第、ちょっとした努力で出来
る美化運動です。あすと言わず今から「ゴ
ミを川に捨てない」ことをぜひとも実行
しましょう。

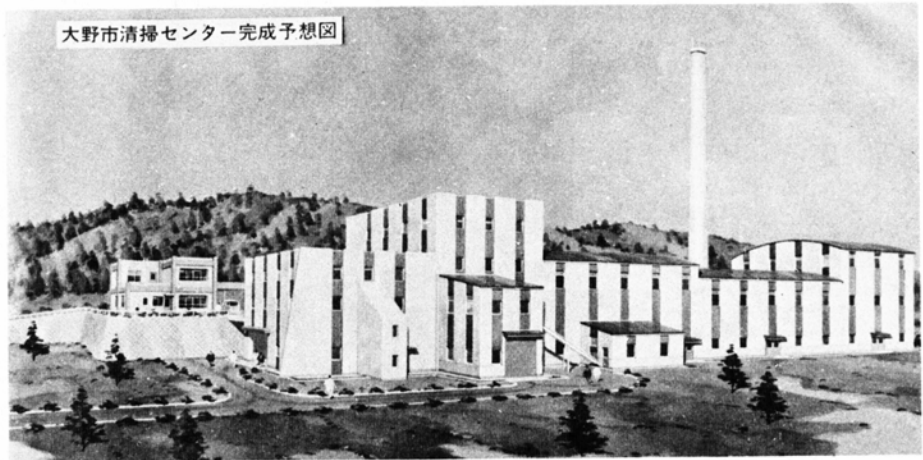
ゴミと 取り組み

「ゴミ戦争」と言われるほどゴミの処理は重大で急を要するものです。市では7月に分別収集を始め、新たに全市対象の不燃物収集を実施して3カ月たちました。今月からは、皆さんお待ちかねの「大野市清掃センター」建設を、昭和53年3月の完成を目指して進めます。この機会にゴミと積極的に取り組む市民の動きや市の対策をご紹介します。いま一度みんなで「ゴミ処理」について考えてみましょう。

大野市清掃
センター
|

今月から着工

二カ年計画、完成は五十三年三月



大野市清掃センター完成予想図

建設費は6億5,100万円

能力50トン、4万6,000人が基準

万円で工事を進めます。

この焼却炉の能力1日50^{トン}が決められた規準は、昭和60年の大野市の人口を4万6,000人、市民1人当たり1日のゴミ排出量を1,106^{kg}（昭和50年1,026^{kg}）

と推定して算定されました。

このように、将来の人口の増加、また1人当たりのゴミの量の伸びなどを推測して、将来において悔いのない規模、能力の清掃センターを建設していきます。

新しいゴミ処理施設の建設工事が今月から東大月で始まります。

名称は「大野市清掃センター」といい1万4,198平方^{メートル}の敷地に、鉄骨一部鉄筋コンクリート造り延べ1,703平方^{メートル}の近代的な建物に、25^基のゴミ焼却炉2基無煙無臭にするための電気集じん機、それに不燃物を処理する破砕機、圧縮機、選別機などを備え付けます。

建設は昭和51、52年度の2カ年計画で行い、昭和53年3月完成予定で総事業費は6億5,100万円、本年度は2億9,451

分別収集3ヶ月

可、不燃物の大別まず良好

問題は収集日以外の搬出

市街地のゴミの分別収集が始まって3カ月、可燃物と不燃物の種類分けがよく定着してきました。

しかし、ステーションの中には、可燃

物と不燃物が

混然となつて
いる所や、収
集日の前夜に
ゴミの山が出
来ている所も

あります。
ゴミの分別収集は収集能率を上げて回数
を多くし、みなさんの要望にこたえら
るとともに、作業員の安全と焼却炉の保



庭に掘った穴へ残菜を入れる上庄地区の婦人

上庄地区婦人会

残菜処理に「穴掘り運動」

「あとにゴボウ植えればよい品が…」

上庄地区婦人は4年前から「ノーゴミ運動」を展開して大きな成果を上げています「燃えるゴミは家庭で処理しよう」と焼却炉を各家庭に備える運動を行ったのが3年前そして、昨年からことしにかけては「穴掘り運動」を進め、台所から出る残菜は庭の片すみに掘った穴に入れて処理することが実行されています。昔から「水はすべてを浄化する」と言われ、この名残りが川へゴミを捨ててもあまり抵抗を感じない区民性をつくり上げてきました。

2年間の取り組みで燃えるものは焼却炉で処理する習慣が出来ましたが、困るのは水分の多い残菜です。青田の時は田に入れることも出来ず、かといって竹やぶや木の根元に置けばハエがたかって不衛生になる。上手な処理方法がないものかといろいろ話し合っただけで出た結論が「穴掘り」です。昨年はこの方法を婦人会の一大運動として強力に進め、今では大半の家庭で実施されています。

猪島の布川志づをさん(47歳)は「土の穴で処理する方法は不衛生な状態にならないし、残菜が土に返れば質のよい有機質の肥料にもなり一石二鳥です」と話していました。

「ゴミを生かして肥料に」「ゴミ穴にゴボウを植えればよい作物が出来る」など婦人会の会合ではアイデアが百出。

息の長い地道な上庄地区婦人会の「ノーゴミ運動」は今や「ゴミ生かし運動」として実を結ぼうとしています。

護のために実施しています。新しい清掃センターが完成しますと、完全な分別方式でなければ処理出来ない仕組みになっていますので、今のうちからぜひ正しいゴミの出し方にご協力下さい。

ここで3カ月間の分別収集の問題点を拾い上げてみますと①可燃物の中にジュースの缶、ドリンクのビン、化粧ビンなどの小さな不燃物が混じっている②可燃物、不燃物の包みがいっしょに出されているステーションがある③収集日以外にゴミが出されている④ビニール板や管などが不燃物の中に出されている(不燃物とはガラス類、金物類、陶器類など全く燃えないものです)⑤自転車、テレビ冷蔵庫などの粗大ゴミに住所、氏名が書いてない(粗大ゴミは手数料が必要ですので、住所、氏名を明記して下さい)などです。各家庭では、可燃物と不燃物のゴミ袋を用意して、可燃物の中に不燃物が混ざらないように努めて下さい。またゴミの搬出は必ず収集日の朝行うよう、心掛けましょう。

「川上に住んでいる者がこのような生活態度では下流の人々が迷惑をする。上庄婦人のモラルの問題として解決していかなければならない」と始められたのが「ノーゴミ運動」です。

「ゴミの始末六カ条」 区で作り気持よく実行

春日2丁目東区



分別収集への協力を呼びかけるチラシと町内だより

市街地の各町内会にはいろいろご協力をいただいています。

その中で、春日2丁目東区では「ゴミの始末六カ条」をつくり「普通のゴミは火曜日と金曜日」「燃えないゴミは水曜日だけ」「混ぜて出すと収集してくれません」などを刷り込んだチラシを作った

分別収集がスムーズに行われるよう、

「町内だより」で周知徹底をはかっています。

もし、目にあまるゴミの出し方をした人があれば、各班の役員が責任をもって指導することが申し合わされており、区長の石田健蔵さんは「分別収集は明るいまちづくりのよい課題です。区民みんなで気持よく分別収集が出来るよう、これからも力を入れていきます」と話していました。

スマイル

「川ゴミ1日1トン」
イットントンイットントンで
通わぬように!!

— 川

体力づくりを生活の中に

日は体育の日

健康はみんなの願い、その源は体力づくりです。あなたは日ごろ体力づくりに心掛けておられますか。市内には多くの人々がいろいろな方法で励んでおられ、どの人も「毎日の生活の中でコツコツと積み重ねなければ効果がない」と話しています。今月はグループで体力づくりにいそしんでいる方々の話題を紹介しましょう。

大和町のマラソングラブ

走り続けて満1年

肩こりや胃腸病ともさようなら

大和町母親クラブ(会長広瀬光代さん)では、体力づくりのために1年前から毎晩マラソンを続けています。

このクラブは大和町内の32歳～45歳のお母さんの会で、昨年9月「日ごろ運動不足になりがちな主婦の健康づくりのためにマラソンをしよう」と話がもち上がり、母親クラブの中にマラソングラブが出来ました。

当初28人でスタート。夜9時のサイレンを合図にトレーニング姿の会員が三三五五国鉄駅近くのガソリンスタンド前に集まります。

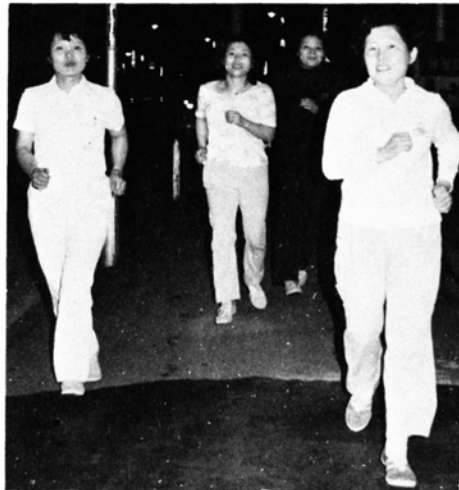
全員でラジオ体操をした後町内2周の2。コースを軽快に走ります。

広瀬さんは「ただ走るだけでなく、火事の恐れがないか、子供が夜遊びをしていないかなど、町内の夜回りも兼ねています。今までに子供の夜遊びを何度も見つけ、注意しました」と話していました。少しの雨降りや雪降りの夜も走ることとし、特に雨のひどい日や雪が多いときはガソリンスタンドの大屋根の下でなわ跳びを続けてきました。

しかし、家事の都合や勤め関係などからどうしても参加出来ない人が出始めましたが、広瀬さんら7人は現在も元気

に走り続けています。

「マラソンを始めるまでは肩こりや胃の調子がよくなかったのですが、今は悪いところがありません」「マラソンをすることによって、身も心も軽くなる、という感じです」「大晦日(みそか)や元



毎夜トレーニングに励むマラソングラブ会員

旦も休みませんでしたよ」と会員の方々はそれぞれにトレーニングの良さと魅力について話していました。

始めた当時20分以上かかった全コースも、今は十一・二分というハイスピード「七人の侍(さむらい)」ならぬ「七人の女丈夫」は健康を目指していつまでも走り続けることでしょう。

めん類組合ソフトボール同好会

「ソフトで腹へっこめよう」

出前も早くサービス向上

めん類組合ソフトボール同好会(リーダー安田利夫さん 会員27人)は、ことしの4月から毎週火・金曜日の午前7時～9時の2時間、市民グラウンドや学校の校庭でソフトボールの練習を続けています。

毎年5月には保健協会のソフトボールの試合があり、過去3回優勝している優秀なチームですが、ことしは試合前1カ月間の練習の成果も実らず、1回戦で惜敗してしまいました。

「勝敗は時の運、試合では練習の技を十分に生かせなかったが、メンバーの心はますます密になった」「どうだ、腹の

出た者や出かかった者の集まりだから、これを機会に腹をへっこめる運動を根気よくしよう」ということで意見がまとまり、週2回のトレーニングが始まりました。やり出したら徹底的にやるのが商人気質、雨が降ろうが風が吹こうが少々のことではへこたれない。

これまで会場の都合が悪い日以外は休んだことがないとのこと。

安田さんは「まだ腹が目立ってへっこんだ者はいないが、確かに体力は強くなり、どの人も仕事疲れをしなくなったと言っています。動きも機敏になっているし、出前も早くなりサービス向上につながる」とトレーニングの効用を話して

コツコツ積み重ねがこつ



バレーボール練習をするめん類組合の人たち

ノいました。
「生活の中にスポーツを」の言葉を地

で行っているのが、めん類組合ソフトボール同好会の方々です。

り熱心にバレーボールの練習をしています。このクラブは山本幸子さん(35歳、中荒井2丁目)ら28歳～40歳の12人の婦人の集まりで、結成したのは昨年の11月今月末でちょうど1年になります。

雨の日も雪の日も休んだことがないのがクラブ員みんなの自慢で、異口同音に「水曜日が待ち遠しい」といいます。

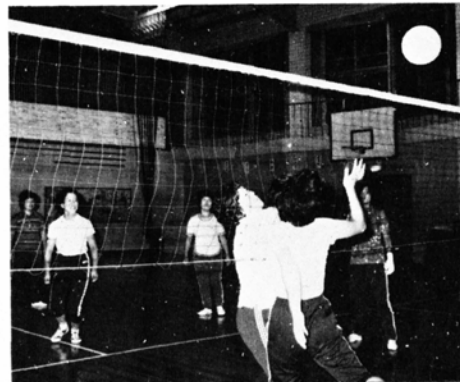
始めた動機について山本さんは「下庄地区婦人会のバレーボール大会が毎年各区対抗で行われますが、私たちはよい成績を上げることが出来ません。それで少しでも練習して試合に臨もうと始めたのがきっかけです。でも今は自分たちの健康と美容のために欠かせない運動になっています」と話していました。

「水曜日は朝から練習時間をつくるためにいろいろ工夫しているのよ。きょうの夕食はカレーライスにしちゃった」「あら私もそうよ」屈託なく談笑する主婦たちはバレーボールの練習と休憩の一時をとおして1週間の心の洗たくもしているようです。

午後7時に始め9時には必ず終わる規則正しい練習ぶりに家族みんなの理解と協力が得られ、子供たちは「バレーの日だよ。早く

行って」と積極的に母を送り出す家庭がほとんどです。

バレーボールを若さのオアシスとしていつまでも続けようとする「クラブあすなる」のママさんたち ガンバレ……。



「美容に欠かせない」とバレーの練習に張り切るママさんたち

「1」「2」「3」「そーれしっかりうけてー」ボールを追うどの婦人の顔にも大粒の汗が流れ、ライトで光っていました。毎週水曜日の夜の下庄小学校体育館には「クラブあすなる」の会員が集ま

バレーを健康のオアシスに

家族もこぞって協力

クラブあすなる

勤労青壮年、婦人など一般市民のスポーツが盛んになるにつれて、学校の体育館やグラウンドを練習に使用することが多くなってきました。

昨年は延人数で小学校使用 9,185人、中学校使用 8,141人計1万7,326人になっています。

市は日ごろ体力づくりにいそしんでおられる方々に対して、一層の便宜をはかるため、学校体育館の社会体育活動への

解放」を強力に進めていきます。その一環として、10月～12月に 355万円をかけ

市の対策

学校体育館を開放 社会体育専用の玄関造る

て体育館から普通校舎への通路にしゃ断設備のない下庄小、上庄小、小山小、上庄中学校にシャッターを設けるとともに

体育館に玄関のない有終西小、陽明中学校には専用の玄関を造ります。

また、市民お待たかねの有終会館は改造工事が進み10月25日に完成の予定です。体育館は 1,732万円をかけて壁面をクリーム色に仕上げ、床を全部張り替えます。床面積は776平方メートルでバレーボールなら1面、バドミントンなら4面、バスケットボールなら1面が取れるよう改造します

9月定例市議会

保育園、公民館、市民会館の防災工事費も

じんかい焼却場建設
八千二百万円を追加

第161回定例市議会は9月17日～24日の8日間開かれ「一般会計補正予算案」「各特別会計補正予算案」「有終会館設置条例の一部を改正する条例案」「教育委員の任命について」など16議案を審議し、原案どおり可決承認しました。また、3月定例市議会以来継続審議となっている「大野市食肉処理場を廃止する条例案」は、施行期日を昭和52年4月1日まで延期する訂正案が出され、引き続き審議されることになりました。

<一般会計>

3億7,530万円を補正

一般会計は歳入歳出にそれぞれ3億7,530万9,000円を追加し、予算総額は43億662万5,000円になりました。主なもの

のは次のとおりです。

総務費▷市民会館の防災施設の整備に161万円。

民生費▷北部保育園の床マット、各保育園の防災工事に147万円。

衛生費▷じんかい焼却場建設費8,230万円を追加して3億6,640万円。

農林業費▷上庄農協カントリエレベーター建設補助1億380万円。▷小山稲作機械利用組合へ土地利用型集団営農推進特別事業補助1,543万円。▷森政、平沢、楸掛区稲作協業集団整備事業補助495万。▷乾側酒米組合へ酒米試験田設置補助150万円。▷八町の生活改善センター設置に対して375万円。▷大野市農協の稲の種子選別センター設置補助1,320万円。▷奥越酪農生産組合の飼料畑、牧



防災加工をする市民会館のどん帳

草地の造成に412万円。▷大野市有機農業生産組合の家畜ふん尿処理施設の設置機械購入に対する補助1,030万円。

土木費▷道路補修15カ所分500万円追加して計1,500万円。▷尾永見川等の河川補修300万円追加して870万円。▷河川改良に245万円追加して計3,545万円。▷駅東第2区画整理地区舗装2,900坪の市負担2,869万円。▷三カ下水路工事費180万円。

教育費▷社会体育活動への学校開放に伴う校舎修理355万円。▷阪谷公民館調理室改築工事310万円。▷各公民館の防災設備設置366万円。



補助金でより充実される有機農業生産組合の家畜ふん尿処理施設

教育委員に上田、正津氏再任

任期満了による教育委員、固定資産評価審査委員選任と、委員退職による後任の人権擁護委員候補者の推薦が行われ次の方々に決まりました。(敬称略)

教育委員

- 上田 範男 (48歳) 森政領家 再任
- 正津 正之助 (67歳) 南六呂師 再任
- 固定資産評価審査委員
- 木間 祐順 (61歳) 木本 再任
- 人権擁護委員候補者
- 南 豊 (61歳) 田野 新任

<有終会館設置条例の一部改正>

オープンは11月1日

改造工事が約1カ月遅れているため、開館は11月1日の予定です。

富田小体育館改築6,845万円

12月の完成目指す

老朽化した富田小学校体育館の改築工事が7月から始まり、12月の完成を目指して急ピッチで進められています。

建物は鉄筋コンクリート造り平屋735平方坪で、総事業費は6,845万円です。

完成するとバレーボールなら1面、バドミントンなら2面、ミニバスケットなら2面がとれ、その外に低鉄棒4欄、つり輪1組の設備をします。



長寿者訪問

お元気、100歳の加藤くらさん

テレビ相撲が何よりの楽しみ



寺島市長からお祝いの品を受ける杉本治、タケさん夫妻

千歳の杉本治さん(99歳)とタケさん(95歳)で、県下でもあまり例をみない長寿夫婦です。治さん、タケさんとも旧西谷村上秋生の生まれで、林業一筋に生きてきた方々です。

「輪島の大ファン」という加藤くらさん

寺島市長は9月9・10日の両日、市内の95歳以上の特別高齢者14人と米寿を迎えられた36人の方々に訪問して長寿をお祝いしました。ことしは昨年より特別高齢者が3人、米寿者が14人多く、最高齢

夫婦で百九十四歳
杉本治、タケさん

者は100歳の加藤くらさん(木本)です。市長が玄関に姿を見せるとくらさんは血色のいい顔をほころばせながら出迎える達者ぶり。「9月12日から始まる大相撲を見るのが楽しみで、輪島の大ファン」と話していました。また、夫婦そろっての特別高齢者は、

昭和30年に笹生川ダムの建設と共に大野市に移住してこられました。治さんは耳がかなり遠く、タケさんは目が少し悪くなりましたが、まだまだ元気で。

治さんは「長生きの秘けつといってもこれというものはない。酒もタバコもやらず、ただ自然の中で精いっぱい働いてきた。これが長生きの一つの要素になっているのかも知れない」と、1世紀を生きぬいてきた大きな手を見つめながら話していました。

市内で95歳以上は次の方々です。(敬称略)

- 加藤 くら (100歳) 木本
- 杉本 治 (99歳) 千歳
- 川井 幸辰 (98歳) 上篠座
- 田中 ゆき (98歳) 上篠座
- 石本 えま (97歳) 小矢戸
- 東 もと (96歳) 中据
- 大藤 コマ (96歳) 中野
- 菅谷 よし (96歳) 上篠座
- 木戸 慈観 (95歳) 春日3丁目
- 永杉嘉太郎 (95歳) 上篠座
- 上坂 トメ (95歳) 上篠座
- 三橋 きよ (95歳) 春日2丁目
- 西川 つぎ (95歳) 菖蒲池
- 杉本 タケ (95歳) 千歳



④旧侍屋敷
城町の田村家

亀山の城に近く住んだ上級武士の邸宅の代表的な田村家の庭には、旧藩当時の面影が残っています。田村家は代々家老職の家柄だったので、時折り藩主の来邸があったのか、庭に藩主御手植と伝えられる2本の松があります。梅も樹齢の古さを見せています。特に庭の奥の土手は、城の堀跡を示す



唯一のもので。この土手は、現在大野高等学校横にわずかに残る百間堀の土手と連なっていました。税務署、大藤家、松井家等を結ぶ線の家々の宅地は埋立地であることが推察されます。田村家の高いこの土手は、旧藩時代に堀の水を支えて城を守る大役を果たしたであろうことを物語っており、また、ここに残るウルシの紅葉が映えるころには当時の大野藩のウルシ栽培奨励策がよくしのばれます。(写真は田村家の庭に残る堀の土手)



◆消防吏員採用試験

昭和51年度の大野地区消防組合消防吏員採用候補者初級試験を次のとおり行います。

〈採用予定人員〉1人

〈受験資格〉①昭和27年4月2日～34年4月1日までに生まれた日本国籍の男子。②学歴は問わないが、高等学校卒業と同等以上の学力がある者。③身体の基準(身長158cm以上、胸囲身長の2分の1以上、体重50kg以上、視力0.3以上、聴力握力、肺活量ともに普通平均以上)

〈第一次試験〉10月31日(日)午前9時から大野地区消防本部講堂で一般教養、作文、体力検査

〈受験手続き〉

消防本部にある申込書に写真(上半身脱帽正面向き縦6cm、横4cm)を張り、履歴書、戸籍抄本、健康診断書を添えて消防本部総務課へ

〈受付期間〉10月12日～25日まで

◆市民体力テスト

体力テストを受けて、自分の体力を知りましょう。

〈日時〉10月10日(日)午前9時～午後3時(雨天中止)

〈場所〉市民グラウンド(市役所横)

〈内容〉横跳び、ジャンプ、ジグザグドリブル、握力など7種目、1人の所要時間30分

〈テスト料〉無料

◆市民サイクリング

〈日時〉10月10日(日)午前9時出発 午後2時帰着(雨天中止)

〈集合〉午前8時市役所前

〈対象〉小学校4年生以上の市民

〈コース〉市役所 → 下舌 → 木本 → 宝慶寺 → 稲郷 → 吉 → 市民会館前(約35キロ)

〈持ち物〉昼食、水筒、タオル、雨具、ごみ袋



◆オリエンテーリング大会

〈日時〉10月17日(日)午前9時から(雨天中止)

〈場所〉砂山、亀山周辺

〈受付時間、場所〉当日午前9時～9時30分大野市役所前

〈申し込み〉10月15日までに市教育委員会体育課(6-1111内線406)

〈持参品〉赤ボールペン、昼食、雨具、ごみ袋

◆有終会館の宿直代行員の募集

〈募集人員〉1人

〈応募資格〉満60歳までの健康な男子

今月の納税

市、県民税 第3期分

30日までに納めて下さい。

〈条件〉賃金一夜(午後5時～午前8時30分)1,300円

〈申し込み〉簡単な履歴書に写真を添えて、10月20日(水)までに市教育委員会庶務課へ

◆結婚相談所の開設

市婦人福祉協議会は結婚相談所を今月から毎月第1、第3金曜日の午前10時～午後3時まで市役所で開きます。ご利用下さい。

◆青年祭は16、17日

若者の祭典である第6回青年祭は16日の午後6時から17日の午前5時まで、市民グラウンド(市役所横)を主会場として行われます。

「共に考え、共につくる喜び」のテーマのもとにキャンプファイア、ダンス、ゲーム、サッカー、ウォーキングなど盛りたくさんの楽しい行事が計画されています。ご参加下さい。

◆便そうにクレゾール投入しないで

ウジ退治のため、クレゾールや塩酸、防腐剤を便そうにまかないよう、また、市販の殺虫剤も能書き以上の量は投入しないようご協力願います。

これらが混ざったし尿が衛生処理場へ持ち込まれますと、処理が困難になります。

十月二十七日から読書週間が始まる。今こそ書物は本屋の店頭や図書館の書架にふれ、また、注文すれば欲しい書物は容易に手に入るが、八、九十年前までは非常に貴重とされ、書籍は作るにも手に入れるにも並々ならぬ苦勞が払われた。▼たとえば、徳川末期には一冊のオランダ書が今のお金で数万円もし、しかも物によってはいくらかお金を積んでも手に入れることが出来なかつた。「長崎の某氏の手もとにオランダ語の良い辞典があるそうぞな」「大阪の某塾には医術のオランダ書があるそうぞだ」などこよなく珍重され、向学心に燃える人たちのせん(羨)望の的であつた。全国各藩からはるばる長崎や大阪へ出向いて、何万語もある原書を夜の目も寝ずに、細かな筆の穂に墨をつけ一字々々筆写した。わが大野市にもそのような当時の貴重な資料が数多く保存されているが、それを見るとき今さらながら先輩諸氏の苦勞がしのばれておのずから頭が下がる。▼福沢諭吉は若いころ、通塾していた緒方塾の蔵書「ハルマニ」わが国最初の蘭和対訳辞書」を夜分借り受けて、幾月もかかつて筆写し、二部作つて一部を友人に売つて学費に充てたと「福翁自伝」に書いてある。▼徳富蘇峰は「頭脳の洗たくは読書に過ぐるものはない。書の極意はまず良書を選ぶことであり、同時に正しい読み方が大事である。健全な道楽のうち最も奨励してよいのは、自然に親しむことと読書することの二つである」と名言を残した。今はその最良の季節である。(M生)

